世界から豊岡に
本物の響きと感動を
子どもたちへ

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭

第6回 おんぷの祭典

2019 6/4▸9

JAPAN-AUSTRIA 1869-2019
オーストリア文化フォーラム

プログラム

「どれ観たい？なに聴きたい？」

音楽や演劇、ダンス、美術など多様なジャンルのプログラムを行うアートのお祭り、Toyooka Art Season を今年も開催します。おんぷの祭典をはじめ、素敵なアートとの出会いをここ豊岡でお楽しみください。

会期：6/1(土) ～ 9/30(月)

Toyooka Art Season 2019

Toyooka Art Season 2019 の詳細はこちらから → http://arts-tabi.jp

◆ 各プログラムのボランティアスタッフも募集中！◆

お問い合わせ (0796)23-0341

主　催／子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会・豊岡市・豊岡市教育委員会
事務局／豊岡市地域コミュニティ振興部生涯学習課　〒668-8666豊岡市中央町2-4

onpunosaiten.com

助成：2019年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

Toyooka Art Season 2019 参加事業

子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じ
豊岡に居ながらにして世界とつながることができる
そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てたい
大人も一緒に楽しめるクラシック音楽があふれるまちづくりを目指し
本音楽祭を開催します

ごあいさつ

子どもたちが豊岡で
世界と出会う音楽祭

実行委員長
岡本 慎二

第6回「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぷの祭典）」が始まります。爽やかな新緑の季節に、豊岡が音楽の都になる一週間をお楽しみください。

今年は中澤宗幸音楽祭プロデューサーに加えてピアニストの碓井俊樹さんを音楽監督としてお迎えし、更に皆様に楽しんでいただける内容になっております。

演奏家の皆さんは、中澤きみ子さん、ミュラーさん、マイケルさんをはじめ、世界と日本から素晴らしい皆さんをお招きしておりますので、ホールコンサート、街角コンサートなどどれをとっても、必ずや市民の皆さまにご満足いただけるものと思います。

今年の目玉は、毎日同じ場所、同じ時間で開催される「稽古堂イブニングコンサート（略称：イブコン）」と三部構成の「グランドフェスティバル」です。

「グランドフェスティバル」は無料の「キッズコンサート」、有料の「プレミアムコンサート」と「ファイナルコンサート」で構成されます。初めての試みとして6つの飲食ブースも出店しますので、市民会館で一日音楽と食事で楽しくお過ごしください。

パワーアップしたプログラムで皆様をお待ちしておりますので、どうかご家族そろってお出かけいただき、豊岡の初夏の風物詩となってきた「おんぷの祭典」を、クラシック音楽を心ゆくまで楽しんでください。

ご支援ご協力いただきます皆様に心より厚く御礼申し上げます。

豊岡市長
中貝 宗治

今年も豊岡に音楽が溢れる季節がやってきました。

6回目となる今年の「おんぷの祭典」は、これまでとは一味も二味も違う内容で、より一層クラシック音楽を身近に感じてもらえるようなプログラムを準備していただきました。

毎年好評の「子どもたちのためのコンサート」をはじめ、親子で安心して楽しめるコンサートを各所で開催します。最終日の「グランドフェスティバル」では、未就学児大歓迎のホールコンサート「キッズコンサート」を新しく企画しました。

もちろん、大人も楽しめるコンサートもたくさんありますが、「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭」というタイトルの通り、この音楽祭の主人公は未来を担う子どもたちです。

豊岡に居ながらにして世界とつながることができ、世界と出会うことができ、このまちを誇りに思う子どもが育つとともに、大人も一緒に楽しめること。これがこの音楽祭のテーマです。

このテーマに賛同し、ご協力とご支援を賜りました多くの皆様に感謝申し上げます。

今回も世界で活躍する音楽家の皆様が市内各所を飛び回り、町中に素晴らしい音楽を響かせてくださることでしょう。ご自身の都合の良い時間や場所で、是非ご家族そろってクラシック音楽のお祭りにご参加ください。

最後に、この音楽祭の開催にあたり毎年大変なご尽力をいただいております中澤宗幸様・きみ子様夫妻に心から感謝を申し上げます。

皆様、素敵なクラシック音楽との出会いをお楽しみください。

子どもたちが豊岡で
世界と出会う音楽祭

プロデューサー
中澤 宗幸
Muneyuki Nakazawa

昨年の第5回を節目として、また少し新しくなった“子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭”「おんぷの祭典」が始まります。今回、初めての取り組みになる、夕方の散歩がてらにお聴きいただける「稽古堂イブニングコンサート」や、家族そろって丸一日市民会館でお過ごしいただける「グランドフェスティバル」など、私もわくわくしています。特に動物の出る曲を集めた「キッズコンサート」や、初めてトランペットや打楽器を加えてオーケストラが大きくなった「ファイナルコンサート」は楽しみです。

それでも、毎年一番力を込めているのは、学校訪問コンサートと街角コンサートです。自分の学校で、手を伸ばせば届く距離で聴く演奏や、ご近所でのコンサートは豊岡音楽祭であればこそ。いつもきらびやかなホールで演奏している一流の演奏家の演奏を、身近で誰にでも聴いていただけます。

また今回、グランドフェスティバルの合間に、私が「ヴァイオリン解体ショー」をいたします。ヴァイオリンの鳴る仕組みを探ってみましょう。「ヴァイオリンを弾いてみよう」にもどしどし挑戦してください。

どうです？　楽しそうでしょう？　どうぞ気軽にお越しください。

子どもたちが豊岡で
世界と出会う音楽祭

音楽監督・ピアノ
碓井 俊樹
Toshiki Usui

2014年に産声をあげた日本で初めての試みである“子どもたちへ明確なメッセージを出した国際音楽祭”「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭“おんぷの祭典”」も、早いもので第6回目を迎えました。

第1回目の音楽祭の年に産まれた赤ちゃんも来年は小学生です。

毎年、楽しみに待ってくれている豊岡の子ども達の為に我々演奏家もたっぷり充電して、全力投入しています。

今年は、新企画“イブコン”もスタートし音楽祭の期間中毎日、演奏会も開催されることになりました。最終日の“グランドフェスティバル”では演奏だけなく、来場するだけで楽しくなる仕掛けも沢山用意されています。

近年、国や地域を超えて多くの情報が瞬時に飛び交い、世界が益々小さくなっている中、音楽の持つ力と重要性は益々高まっています。子ども達が世界の荒波の中をくぐり抜ける上で、必要とされる芸術的・文化的素養をこの豊岡で、音楽祭を通じて集中的に体験できるよう、全てのプログラムを組みました。

0歳から入場できる“おんぷの祭典”、豊岡の方のみならず、近隣の市町村の方々も大歓迎いたしますので演奏会場に気軽に遊びにいらしていただければ幸いです。

日本オーストリア友好150周年

2019年、日本とオーストリアは、国交樹立150周年を迎えます。この記念すべき年をできるだけたくさんの人々とお祝いし、交流を深めるために、ちなんだコンサートやイベントを150周年事業として認定しています。このおんぷの祭典もその一つです。オーストリアの首都「ウィーン」は音楽の都。モーツァルトの時代から音楽家の憧れの的。今回はオーストリアの作曲家、オーストリアにちなんだ作曲家の曲を集めてお聴きいただきます。

JAPAN-AUSTRIA
1869-2019

左の赤い丸は日本国旗を、右の赤と白の縞模様は
オーストリア国旗をそれぞれ表しています。

演奏者のご紹介

アンサンブル・ウィーン東京
（弦楽四重奏）

1991年、中澤きみ子やルードヴィッヒ・ミュラーを中心に結成された、ウィーン正統派の演奏を継承する個性豊かなアンサンブル。アルバン・ベルクカルテットに薫陶を受け、ウィーンゆかりの作曲家たちの作品を中心に、長く演奏を続けています。

中澤 きみ子 Kimiko Nakazawa 〈ヴァイオリン〉

新潟大学を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にて研鑽を積む。1991年「アンサンブル・ウィーン東京」を結成。2000年に文化庁芸術家海外派遣員としてウィーンに留学。その後、国内外のオーケストラと多数共演し、CD も数多くリリースしている。また東日本大震災後、ライフワークとしてTSUNAMI ヴァイオリンの演奏にも力を注いでいる。尚美学園大学、大学院および上野学園大学で客員教授を歴任。

ルードヴィッヒ・ミュラー Ludwig Müller 〈ヴァイオリン〉

ウィーン大学、ウィーン音楽院で学んだ後、1986年よりウィーン室内管弦楽団、1991年よりカダケス管弦楽団のコンサートマスターを務め、両団のソリスト、芸術監督、指揮者として、ウィーン楽友協会、ザルツブルクのモーツァルテウム及び海外公演など主要な演奏会シリーズを務めている。

坂口 昂平 Kohei Sakaguchi 〈ヴィオラ〉

10歳よりヴァイオリンを始め、尚美学園大学在学中にヴィオラに転向。卒業後、様々なジャンルの演奏活動をする傍ら、自身主催のカルテットやバンドで作編曲をする。ヴァイオリン、ヴィオラをエルンスト・レスター、中澤きみ子に師事。室内楽を中澤きみ子、高田剛志、岩崎淑、霧生トシ子、故浜中浩一に師事。2019年より静岡交響楽団ヴィオラ奏者。

マイケル・ウィリアムズ Michael Williams 〈チェロ〉

オーストラリアでディプロマを取得後、ヨーロッパで学ぶ。エリザベス2世賞など数多く受賞。その後、オーストラリア室内管弦楽団の首席チェリストとして世界各地を巡り活躍。1995年ウィーン室内管弦楽団のソロ・チェリストに就任。定期的に室内アンサンブル活動にも力を入れている。

碓井 俊樹 Toshiki Usui 〈ピアノ〉

東京藝術大学を経て、ザルツブルグ・モーツァルテウム芸術大学で研鑽を積む。イタリア・カントゥ国際コンクール第1位など数多くのコンクールで受賞。ウィーンと 東京を拠点に今までに30ヶ国以上で国際音楽祭への出演、国際コンクールの審査などワールドワイドな活躍をしている。
一般社団法人横浜シンフォニエッタ代表理事、日本香港音楽協会理事長(香港)、「音楽を通じた日本とアルジェリ アの相互理解の促進」について平成29年度外務大臣表彰を受ける。上野学園大学客員教授。

シュバシコウ・カルテット
(弦楽四重奏)

2016年のおんぷの祭典第3回から出演。
普段はそれぞれの場所で活躍しながら、豊岡では息のあった質の高い演奏を聴かせてくれています。特に小さな子どもたちのためのコンサートや学校でのパフォーマンスは人気です。

須山 暢大 Nobuhiro Suyama 〈ヴァイオリン〉

東京藝術大学卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞など大学在学中より活躍し卒業時に同声会賞受賞。ソリストや室内楽者、客演コンサートマスターとして活躍。2018年4月より大阪フィルのコンサートマスターに就任。

川又 明日香 Asuka Kawamata 〈ヴァイオリン〉

桐朋女子高等学校音楽科、上野学園大学音楽学部を経て、ジュネーヴ州立高等音楽院修士課程ソリストコースをMaggyBreittmayer賞を得て卒業。
2004年第2回仙台国際音楽コンクール審査委員特別賞。
2013年にルーマニア国立ブラショフ・フィルのシーズン開幕コンサートにゲストとして出演。2010年にソロアルバム「i」をリリース。
2012年第37回茨城県新人賞受賞。

鈴村 大樹 Daiki Suzumura 〈ヴィオラ〉

3歳よりヴァイオリンを始め18歳でヴィオラに転向。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門1位。山手の丘音楽コンクール1位、第9回東京音楽コンクール3位等、数々のコンクールに入賞している。これまでに宮崎国際音楽祭、プロジェクトQ等のコンサートに出演。

加藤 文枝 Fumie Kato 〈チェロ〉

東京藝術大学、同大学院修士課程卒業。学内にて、安宅賞、アカンサス音楽賞等受賞。パリ市立音楽院、満場一致の首席で卒業。第8回ビバホールチェロコンクール第1位、第7回・第8回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。FLAME国際コンクール(パリ)第3位。
国内の各オーケストラと共演。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。

こうのとり・クインテット
(木管五重奏)

第7回大阪国際室内楽コンクール3位受賞の木管五重奏アンサンブル・ミクストのメンバーを中心に音楽祭に第4回から出演。
CD「ミクスト・ノート」を2016年にリリースしています。

梶川 真歩 Maho Kajikawa 〈フルート〉

愛知県立明和高等学校、東京藝術大学、パリ・エコールノルマル音楽院、パリ地方音楽院卒業。コンクールジュヌフルーティスト1位(仏)、第7回大阪国際室内楽コンクール3位、東京音楽コンクール3位、日本音楽コンクール入選等、入賞多数。財団法人地域創造アウトリーチフォーラムに参加、東京文化会館、トリトンアーツネットワーク主催公演等の活動にも力を入れている。ソリストとしては東京文化会館、白寿ホール等ホール主催公演に出演。現在NHK 交響楽団フルート奏者、桐朋音楽大学非常勤講師。

本多 啓佑 Keisuke Honda 〈オーボエ〉

東京藝術大学附属高校、東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。2010年にハンブルク音楽演劇大学大学院に留学。第79、82回日本音楽コンクール、第7回津山ダブルリードコンクールに入賞。ソリストとして東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団等と共演。第7回大阪国際室内楽コンクール第3位。現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席オーボエ奏者、木管五重奏アンサンブル・ミクストのメンバーおよび洗足学園音楽大学非常勤講師。

笹岡 航太 Kota Sasaoka 〈クラリネット〉

香川県出身。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学別科を経て、同大学大学院を修了。第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会5位入賞。第6回日本クラリネット協会主催クラリネットアンサンブルコンクール第2位。
これまでにクラリネットを山崎盾之、藤井一男、亀井良信、三界秀実、山本正治の各氏に、室内楽を水谷上総、小畑善昭、磯部周平、池田昭子、三界秀実、山本正治の各氏に師事。

中田 小弥香 Sayaka Nakata 〈ファゴット〉

東京藝術大学音楽学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。第7回大阪国際室内楽コンクール第3位。ファゴットを岡崎耕治、河村幹子、水谷上総諸氏に、バロックファゴットを堂阪清高諸氏に師事。現在モダン楽器及びオリジナル楽器奏者として、関東を中心にオーケストラや室内楽、スタジオ録音など幅広い演奏活動を行う他、後進の指導にも力を注いでいる。洗足学園音楽大学、新潟県立新潟中央高等学校音楽科非常勤講師。木管五重奏アンサンブル・ミクストのメンバー。

嵯峨 郁恵 Ikue Saga 〈ホルン〉

東京藝術大学音楽学部卒業。これまでに須田一之、松崎裕に師事。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅦ、オーケストラ・プロジェクトⅠ、2010年サイトウ・キネン・フェスティバル「青少年のためのオペラ」に参加。第7回大阪国際室内楽コンクール第3位。現在、オーケストラや吹奏楽に客演のほか、小学校などでのアウトリーチに力を入れるなど、幅広く活動している。木管五重奏アンサンブル・ミクスト、横浜シンフォニエッタシーズンメンバー。

グランドフェスティバルに出演！

「おんぷの祭典」室内合奏団

森　茂 Shigeru Mori〈ティンパニ〉

1974年国立音楽大学打楽器科を首席で卒業。武岡鶴代賞を受賞。1974年日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し、同年9月入団。1987年音楽監督の故渡邊暁雄氏より打楽器トップ奏者に任命される。1991年打楽器首席奏者に任命され、ティンパニ奏者となる。1996年12月8日浜離宮朝日ホールにおいてティンパニリサイタルを行う。1997年静岡において、大編成打楽器アンサンブルを主宰し、音楽監督、指揮者を務める。以後3回の演奏会を持ち現在に至る。2001年洗足学園音楽大学の講師に就任。2005年洗足学園音楽大学の教授に就任。現在、客員教授。洗足学園音楽大学附属打楽器研究所所長、日本打楽器協会副会長。

北條 エレナ Erena Hojyo〈ヴァイオリン〉

ミラノ近郊ノヴァーラ生まれ。「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」で第1ヴァイオリンを務める。イタリアウルビス音楽祭にて最高位ディプロマを授与。ロータリークラブ青少年コンクール第1位及びガバナー賞。スペインGROBA 国際ヴァイオリンコンクールセミファイナリスト。京都堀川音楽高校、京都市立芸術大学ヴァイオリン専攻首席卒業。NHKFM リサイタル・ノヴァ、ラフォルジュルネ、ルポン音楽祭、ローマ野外音楽祭等に出演。

柳楽 毬乃 Marino Nagira〈ヴァイオリン〉

島根県出身。第16回KOBE 国際音楽コンクール優秀賞受賞。「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」のオーディションに合格し3年間在籍。スーパーストリングスコーベに所属。2016年、なかうみ交響楽団と共演。2017年、リサイタルを開催。これまでに、ヴァイオリンを井川晶子、芦原充、玉井洋子、玉井菜採、豊嶋泰嗣、田村安祐美、ヴィオラを小峰航一、室内楽を上森祥平、アルバート・ロトの各氏に師事する。京都市立芸術大学を経て、現在、同大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻2年在学中。

池田 源輝 Genki Ikeda〈コントラバス〉

16歳からコントラバスを始める。福岡市立福岡中央高校、京都市立芸術大学を卒業。第2回Japan International Contrabass Competition 第3位。「沸き上がる音楽祭」に出演し、沸き上がる音楽祭祝祭管弦楽団とコンチェルトを共演。おんぷの祭典、北九州国際音楽祭、霧島音楽祭に招待され出演。杉上あつこ、吉田秀、西口勝、黒川冬貴各氏に師事。NHK 交響楽団をはじめとする日本各地のオーケストラへの客演、またソロや室内楽での演奏で活躍中。

中嶋 尚也 Naoya Nakajima〈トランペット〉

秋田県出身。山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コース卒業。東京藝術大学音楽学部別科器楽科修了。第15回浜松国際管楽器アカデミーにて、フリッツ・ダムロウのマスタークラスを受講、プレミアムコンサートに出演。第18回山形県出身者新人演奏会に出演。第26回大仙市音楽祭コンクール奨励賞受賞。これまでトランペットを井上直樹、佐藤友紀、古田俊博、栃本浩規の各氏に師事。現在、OsakaShion Wind Orchestra トランペット奏者。トランペットアンサンブルDynamite Eleven メンバー。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科非常勤講師。

長谷部 守 Mamoru Hasebe〈トランペット〉

東京都出身。中学入学時にトランペットを始める。2012年尚美学園大学卒業。第18回浜松管楽器アカデミー受講。第30回板橋区クラシック音楽オーディションに合格。第15回万里の長城杯国際音楽コンクール管楽器部門一般の部門第5位。2014年より関西に拠点を移し2018 年3月まで京都市消防音楽隊非常勤嘱託員として勤務。現在はフリー奏者として関西のプロオーケストラの客演を中心に活動。これまでにトランペットを加古勉、神代修、依田泰幸、御堂拓巳の各氏に師事。

奥 祐里恵 Yurie Oku〈ホルン〉

2013年大阪音楽大学音楽学部器楽学科を卒業。大学在学中にシュテファン・ドール氏のマスタークラスを受講。卒業後、アジアユースオーケストラ2013に参加。ホルンを小山亮、三宅知次両氏に師事。2016年より3年間ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団登録正団員を務めたのち、現在は関西を中心にフリーランス奏者として活動している。

「おんぷの祭典」ジュニア・ピアニスト

小野 恵都　田村　涼
多根 希望　木村 一花
中嶋 紗和　谷口 奏楽
佐伯 みなみ　角谷 泉実

販売中!

おんぷの祭典
ピンバッジ

商品代金の一部は**音楽祭の運営資金**になります
各コンサート会場で販売中！
スタッフにお声掛けください。

1個 ¥1,000

5 水 サロンコンサート

会場／西村屋ホテル招月庭
出演／アンサンブル・ウィーン東京
雄井俊樹（ピアノ）
須山暢大（ヴァイオリン）
梶川真歩（フルート）

シューベルト

ソロヴァイオリンと弦楽四重奏のためのロンド D.438

オーストリアの作曲家と言えばモーツァルトやシュトラウスを思い出しますが、シューベルトこそウィーンで生まれ、ウィーンからほとんど出ることなく31年の生涯を過ごしました。貧しい家に生まれ、才能を認められて音楽教育は受けることができましたが、暮らしは貧しさとの闘いだったようです。でもそのかわり、彼には支えてくれる多くの友人がいました。シューベルティアーデと呼ばれる仲間内のコンサートは回を重ねました。

まずは19歳頃の作品で、ソロのヴァイオリンと弦楽四重奏、または弦楽合奏でも演奏されますので、協奏曲を書かなかったシューベルトにしては珍しい、小さな協奏曲的な作品です。大きな序奏に続き、いろいろな旋律を取りまぜたロンド部が続きます。

ヴァイオリンを弾いたお兄さんのフェルディナンドのために書いたともいわれていますが、明るく、シューベルトらしい歌のような旋律に飾りを加えた、華やかな作品になっています。

シューベルト

弦楽四重奏曲第13番「ロザムンデ」D.804

シューベルトの弦楽四重奏曲でもっとも有名で評価が高いのは第14番「死と乙女」です。この音楽祭でも第2回でお聴きいただきました。その「死と乙女」とほぼ同時期にできたのが「ロザムンデ」です。死の4年前に作られ、第2楽章に前年に作った劇音楽「ロザムンデ」の旋律を使っていることから、そう呼ばれています。劇音楽の方は評判がよくありませんでしたが、弦楽四重奏は特に第3楽章が評判がよく、初演ではアンコールにもう一度演奏しています。本日は耳慣れた「ロザムンデ」の旋律が流れる第2楽章と、その第3楽章を演奏します。

モーツァルト

幻想曲 K.397

オーストリアの生んだ天才作曲家モーツァルト。彼なしではやはりオーストリアの音楽は語れません。幻想曲は作曲者の自由な想像力に基づいて作られる曲で、この曲は1782年頃に作曲されたといわれています。未完の作品で、1804年の初版では97小節目以降は空白でした。出版された時には、10小節が加筆されていましたが、誰によるものかはわかっていません。謎の多い曲ですが、冒頭の分散和音や、哀感に満ちた美しい旋律など、とても魅力的な曲です。

モーツァルト

フルート四重奏曲 第1番 K.285

モーツァルトの時代は作品を依頼してくれる人、良い待遇で雇ってくれる王侯貴族やお金持ちを求めてたくさんの旅をしました。馬車の旅はとてもつらかったようですが、その土地ではやっている音楽や風土にふれて音楽の幅も広がりました。この曲も21歳でザルツブルクを離れ、職探しにパリに向かう途中に滞在したドイツのマンハイムで作曲されています。オランダ人の音楽愛好家からの依頼でフルート協奏曲と四重奏曲を数曲書いていますが、楽器が改良される前の初期のフルートはあまり音程がよくなく、気のりしていなかったようです。それでも天才もーツァルト。のびやかで輝く、フルート四重奏曲の最高傑作として今でも人気の曲です。

第1楽章：弦楽器の軽やかな音符にのって、フルートがコロコロと転がるように輝くように旋律を奏でます。

第2楽章：弦楽器のピツィカート（指ではじく奏法）とともに、哀し気で甘い旋律の美しいフルートの独奏が心に残ります。

第3楽章：第2楽章から続けて演奏されますが、軽快な旋律が弱く、また強く何度か繰り返された後、違う旋律を挟み、また元に戻って華やかに終わります。

シューベルト

モーツァルト

9日 グランドフェスティバル

2部 プレミアムコンサート

会場／豊岡市民会館・文化ホール
出演／中澤きみ子、ルードヴィッヒ・ミュラー
須山暢大（ヴァイオリン）
坂口昂平、鈴村大樹（ヴィオラ）
マイケル・ウイリアムズ、加藤文枝（チェロ）
碓井俊樹（ピアノ）

ブラームスはお好き？

ブラームスはドイツのハンブルク生まれですが、29歳でウィーンに移り、64歳で亡くなるまで住み続け、ウィーンの中央墓地に眠っています。
ウィーン楽友協会の芸術監督に就き、オーストリア皇帝から勲章を授与されるなど、ウィーンに根付いて活躍しました。
4つの交響曲や数々の魅力的な作品を残していますが、特に室内楽の分野で大きな足跡を残しています。

ヴァイオリンソナタ第1番「雨の歌」Op.78

ブラームスは40歳過ぎて初めてヴァイオリンソナタを出版しました。3作と決して多くはありませんが、そのどれをとってもロマン派の最高傑作と言われています。
この第1番はオーストリアのヴェルター湖畔、ペルチャッハという避暑地で生まれていますので、さわやかで、その中にも気品があり、明るい気分になります。その前に行ったイタリア旅行の影響で、情熱的な部分もありますが、やはりブラームス的な哀愁がどこか感じられるようです。自分で作曲した歌曲「雨の歌」の旋律を第3楽章の冒頭に使っていることから、「雨の歌」という副題が付いています。

第1楽章：優しい、語りかけるような旋律で始まり、だんだん活気を帯びてきます。

第2楽章：ゆっくりな哀愁の漂う楽章で、まずピアノで民謡風の旋律が弾かれ、ヴァイオリンが加わります。途中、葬送行進曲風の調べも出てきます。

第3楽章：彼が生涯思いを寄せていたクララ・シューマンが愛したといわれる歌曲「雨の歌」の旋律から始まることからも、この楽章に込める思いがわかるような、評価の高い楽章です。

弦楽六重奏曲第1番

ブラームスはそれまでの大家が力を込めて作曲してきた弦楽四重奏曲を40歳まで発表しませんでした。交響曲同様、偉大なベートーヴェンの作品が簡単には乗り越えられなかったのでしょう。そのかわり巨匠たちが手を付けなかったヴァイオリン2、ヴィオラ2、チェロ2の弦楽六重奏曲は若くして2曲残しています。もともと重厚な響きを好んだことも一因です。この第1番は彼の生涯でも、20代半ばの幸福で実り多い時期に作られたので、楽しく幸せそうで、若々しさにあふれています。古典派からバロックなどの音楽の研究も進めていた時で、古典派、ベートーヴェンの七重奏曲などに近く、弦楽四重奏よりずっと管弦楽的な響きをもっています。

第1楽章：レントラー風（南ドイツの3/4拍子の民族舞踊）で楽しさの中にブラームスらしい感傷的な味わいもある楽章。第1ヴィオラの伴奏で第1チェロの親しみやすい旋律から始まります。

第2楽章：第1ヴィオラから始まる力強く民謡風な旋律は有名で、6つの変奏曲が続きます。ルイ・マル監督の映画「恋人たち」で使われ、広まりました。

第3楽章：明るく陽気でユーモラスなスケルツォ。チェロのピツィカートにのってヴァイオリンの旋律で始まります。

第4楽章：最もクラシックな様式を豊かに持つ楽章で、ハイドンのような行進曲風のチェロの旋律で始まります。最後は徐々にテンポをあげ、ffで華やかに終わります。

ブラームス

左／ヨハン・シュトラウス2世　右／ブラームス
同じ頃ウィーンで活躍した2人はお互いを認め合い、交流がありました。

9日 グランドフェスティバル

3部 ファイナルコンサート

会場／豊岡市民会館・文化ホール
出演／「おんぷの祭典」室内合奏団
「おんぷの祭典」ジュニア・ピアニスト

8人のジュニア・ピアニストがソリストとして登場

モーツァルト

ピアノ協奏曲第12番 K.414

モーツァルトは11歳の習作から亡くなる年のピアノ協奏曲第27番まで、生涯を通してピアノ曲を作っていました。第12番は、昨年演奏した第13番と同じく、1783年、27歳の時にウィーンでの演奏会のために作った3曲のうちの1曲です。父親にあてた手紙で「むずかしすぎもせず易しすぎもせず、ほどよい中間を保っています」と伝えています。

第1楽章：ウィーンでのデビューにふさわしい明るく伸びやかで華麗な楽章。

第2楽章：冒頭は前年1月に亡くなったバッハの作品から引用して偲んでいる。

第3楽章：軽快な旋律で、親しみやすい楽章。

ハイドン

交響曲第101番「時計」第2楽章　Hob.I:101

ベートーヴェンの交響曲が9番までなのはよく知られていますが、作曲するのがとても速かったモーツァルトも41番までででした。それに比べて、ハイドンの108番は驚きです。77歳と、モーツァルトやシューベルトの倍以上生きたのも一因でしょう。

この第101番はウィーンから2回目にロンドンへ旅行に行った61～2歳の時につくられた3曲の交響曲のうちのひとつです。「時計」の副題は後の人々がつけたものですが、第2楽章の規則正しい伴奏のリズムが時計の「カチカチ」という音を連想させるからでしょう。それもあって100曲以上ある交響曲の中でも特に有名です。

ハイドン

ウィーンと言えばウインナ・ワルツ！

父親のヨハン・シュトラウス1世はウインナ・ワルツを確立し、ワルツの父と呼ばれています。あとを継いだシュトラウス2世もヴァイオリンを弾きながら楽団の指揮をし、作曲家としてもすぐれ、ワルツ王と呼ばれるようになりました。ウィーンでは毎夜開かれる舞踏会にシュトラウス親子の華やかな名曲が演奏され、世界中で流行したのです。

ヨハン・シュトラウス2世

こうもり序曲 Op.362

オペレッタはオペラに比べ、小さいオペラという意味ですが、「喜歌劇」と訳されるようにほとんどが喜劇で、ハッピーエンドで終わります。シュトラウスはオペレッタが得意で、この「こうもり」は最高傑作と言われ、今でもウィーン歌劇場では大晦日は「こうもり」が上演されています。

序曲は「これからオペラ（オペレッタ）が始まります」という合図で、全幕の聞かせどころをぎゅっと詰め込んであります。観客はこれから始まる物語にわくわくしていきます。この序曲はニューイヤーコンサートでもたびたび演奏されていますが、愉快な物語と同じように、明るくにぎやかで、おしゃれで、最後ははなばなしくうきうきと終わります。

南国のバラ Op.388

オペレッタ「女王のレースのハンカチーフ」を気に入ったイタリア王のために、その中から4曲ほど選んでメドレー風に編曲し、王に献呈したワルツです。彼は生涯で500曲を越えるワルツを作りましたが、その中でも人気があり、十大ワルツの一つに数えられています。それぞれ感じの違う、第1ワルツ、第2ワルツ、第3ワルツの後、行進曲風の第4ワルツに入り、最後は速い下降音階できっぱり終わります。

美しき青きドナウ Op.314

ウィンナ・ワルツの代表として広く親しまれているこのワルツは、1867年2月のカーニバルの幕開けを祝うコンサートで演奏されました。前年、オーストリア帝国はプロシアやイタリアとの戦いに敗れ、暗く沈んでいた国民を勇気付けようと作曲されたものです。シュトラウスは栄光は去っても、変わらずに春を待つ自然の美しさやドナウの流れに目を向け、そこにウィーンの心を見つけました。最初は合唱用ワルツとして作られましたが、あまり評判になりませんでした。その後、7月のパリ万博で管弦楽だけで演奏され、評判になったそうです。

ドナウ川のせせらぎのようなヴァイオリンのトレモロに、ホルン、チェロ、ファゴットが加わって第1ワルツに向かって豊かに進んでいく冒頭から、変化に富んだ5つのワルツが魅力的に繰り広げられます。

作品番号

それぞれの作品はほとんどが作曲順、出版順にふられています。普通はオーパス（Op.）であらわされますが、作品番号がなかったり欠落が多い作曲家の場合、作品目録番号を用いることがあります。それぞれ分類した人の名前を取って、モーツァルトはケッヘル（K.）ハイドンはホーボーケン（Hob.）、シューベルトはドイッチュ（D.）が使われています。

ヨハン・シュトラウス2世

おんぷの祭典スポンサー

「おんぷの祭典」は、多くの企業や市民の皆様のご理解とご賛同をいただいています。

PLATINUM sponsor（プラチナ）

基礎と環境を調和する 株式会社オーク

大石建設設備株式会社

東海バネ工業株式会社 www.tokaibane.com

TOHO SEIKO（株式会社 東豊精工）

GOLD sponsor（ゴールド）

中田工芸株式会社
株式会社ウノフク
株式会社西村屋
大井小枝子
株式会社ビトーアールアンドディー
株式会社川嶋建設
株式会社システムリサーチ
株式会社但馬銀行
但馬信用金庫本店営業部
日和山観光株式会社
北村内科

SILVER sponsor（シルバー）

株式会社由利
株式会社三井住友銀行豊岡支店
兵庫県信用組合
株式会社金下工務店
株式会社北星社
株式会社谷垣
城崎温泉国際友好クラブ
サンキョー株式会社
SMBC 日興証券株式会社姫路支店
森田教材社・文森堂
大豊機工株式会社
ティ.ケイフーズサービス株式会社
エンドー鞄株式会社
フミオ工業株式会社
WILLER ALLIANCE 株式会社
たじま農業協同組合

BRONZE sponsor（ブロンズ）

株式会社京都銀行久美浜支店
株式会社山陰合同銀行豊岡支店
有限会社山本屋
有限会社芹
株式会社げんぶ堂
株式会社但馬屋
株式会社絆工房
有限会社つばきの旅館
大同開発工業株式会社
株式会社キヅキ商会
有限会社和平
出石ケーブル株式会社
但馬ティエスケイ株式会社

SUPPORT sponsor（サポート）

豊岡エネルギー株式会社
神鍋リゾート開発株式会社
株式会社ピークス
川口屋城崎リバーサイドホテル
小西 一司
瀧田 清兵衛
三丹ビジネスマシン株式会社
株式会社常盤
（一社）豊岡教育音楽学院
大西恵子バレエ教室・但東クラシックバレエ
衣川産業株式会社
株式会社井戸
有限会社ヤマサキ商店
田中音友堂
株式会社ピート楽器
川戸自動車工業株式会社
平野株式会社
株式会社古まん
小幡内科医院
小田 尚
㈱三笠鉄工
株式会社三立豊岡支店
日本生命保険相互会社出石営業部
日本パワーファスニング株式会社豊岡工場
株式会社事務機のサカモト
大岡ゴルフ倶楽部
神織興業株式会社
株式会社マルナカ
OES アクアフォーコ株式会社
日本政策金融公庫神戸支店中小企業事業
株式会社フクダ
しらゆり診療所
明治安田生命保険豊岡営業所
若宮 正仁
GOLF STAGE オーバードライブ
株式会社ユラク
株式会社メイワパックス兵庫工場
株式会社白バラドライ
株式会社オグラ
全但バス株式会社
株式会社ファスト
ヘアエステクレール
クリエイツ
匿名
（順不同、敬称略）

全てのお客さまに気持ちよく演奏をお楽しみいただくために…

「おんぷの祭典実行委員会」からマナーについてのお願い

演奏中はお静かに。

スーパーのレジ袋や"飴"を袋から出すときの音などは想像以上によく響きます。
プログラムをめくる音にもご注意ください。

周囲の人の視界を遮るような行為はご遠慮ください。

「ブラボー」の呼び声や拍手は演奏が終わってからにしましょう。

楽章間に拍手をしないように注意しましょう。

演奏中の入退場はご遠慮ください。

咳をする際はハンカチなどで押さえましょう。

カメラ、ビデオ、レコーダーでの撮影や録音はできません。

客席内では携帯電話の電源をOFFに。

時計のアラームも鳴らないようにしましょう。

客席内での飲食、喫煙はご遠慮ください。

豊岡が音楽の都になる一週間

4 火

稽古堂イブニングコンサート 有料

会場／豊岡稽古堂・市民ギャラリー
豊岡市中央町2-4
開場／17:45～　開演／18:00～18:30（終了予定）
出演／加藤文枝（チェロ）&碓井俊樹（ピアノ）
チケット／¥500（当日券）
5日間フリーパス ¥1,000

5 水

子どもたちのためのコンサート 未就学児OK 無料

おんぷの祭典の人気コンサート。
ハイハイでも、抱っこでも、お腹の中でも、自由に聴いてください。大きな声を出しても平気。一緒に歌ったり歩いたりして、楽器の近くで音の振動を感じてください。
会場／豊岡市民プラザ・ほっとステージ
豊岡市大手町4-5アイティ7F
開場／10:15～　開演／10:30～11:20（終了予定）
出演／碓井俊樹（ピアノ）、シュバシコウ・カルテット
曲目／アンパンマンからモーツァルトまで
対象／就学前の子ども、妊婦さんなど

サロンコンサート 食事付き 有料

豪華なディナーのあとはうっとりと上質な音楽を！
最高の一夜をご用意しました。
会場／西村屋ホテル招月庭
豊岡市城崎町湯島1016-2
開場／17:45～　食事／18:00～
演奏／19:30～20:30（終了予定）
出演／中澤きみ子、ルードヴィッヒ・ミュラー、須山暢大（ヴァイオリン）坂口昂平（ヴィオラ）、マイケル・ウイリアムズ（チェロ）、碓井俊樹（ピアノ）、梶川真歩（フルート）
曲目／シューベルト：ソロヴァイオリンと弦楽四重奏のためのロンド
シューベルト：弦楽四重奏曲第13番「ロザムンデ」
モーツァルト：幻想曲、モーツァルト：フルート四重奏曲 第1番
対象／大人のみ
チケット／ひとり ¥12,000（1ドリンク付き）

稽古堂イブニングコンサート 有料

会場／豊岡稽古堂・市民ギャラリー
豊岡市中央町2-4
開場／17:45～　開演／18:00～18:30（終了予定）
出演／本多啓佑（オーボエ）、中田小弥香（ファゴット）&碓井俊樹（ピアノ）
チケット／¥500（当日券）
5日間フリーパス ¥1,000

6 木

街角コンサート 出石 無料

会場／勝林寺
豊岡市出石町内町59
開場／15:45～　開演／16:00～16:30（終了予定）
出演／アンサンブル・ウィーン東京

街角コンサート 日高 未就学児OK 無料

会場／蓼川保育園
豊岡市日高町祢布1001-2
開場／15:45～　開演／16:00～16:40（終了予定）
出演／こうのとり・クインテット

稽古堂イブニングコンサート 有料

会場／豊岡稽古堂・市民ギャラリー
豊岡市中央町2-4
開場／17:45～　開演／18:00～18:30（終了予定）
出演／須山暢大（ヴァイオリン）&碓井俊樹（ピアノ）
チケット／¥500（当日券）
5日間フリーパス ¥1,000

7 金

街角コンサート 竹野 未就学児OK 無料

大人も楽しめる
子どもたちのためのコンサート
会場／竹野健康福祉センター
豊岡市竹野町須谷1478
開場／10:15～　開演／10:30～11:20（終了予定）
出演／こうのとり・クインテット

稽古堂イブニングコンサート 有料

会場／豊岡稽古堂・市民ギャラリー
豊岡市中央町2-4
開場／17:45～　開演／18:00～18:30（終了予定）
出演／中澤きみ子（ヴァイオリン）&碓井俊樹（ピアノ）
チケット／¥500（当日券）
5日間フリーパス ¥1,000

8 土

街角コンサート 城崎 無料

会場／城崎駅通り公園
豊岡市城崎町湯島237
開場／10:30～11:00（終了予定）
出演／こうのとり・クインテット

街角コンサート 但東 未就学児OK 無料

大人も楽しめる
子どもたちのためのコンサート
会場／合橋地区コミュニティセンター
豊岡市但東町出合150　但東庁舎3階
開場／14:45～　開演／15:00～15:50（終了予定）
出演／碓井俊樹（ピアノ）、シュバシコウ・カルテット
with 但東クラシックバレエ

稽古堂イブニングコンサート 有料

会場／豊岡稽古堂・市民ギャラリー
豊岡市中央町2-4
開場／16:45～　開演／17:00～17:30（終了予定）
出演／ルードヴィッヒ・ミュラー（ヴァイオリン）、マイケル・ウイリアムズ（チェロ）&碓井俊樹（ピアノ）
チケット／¥500（当日券）
5日間フリーパス ¥1,000

学校訪問コンサート

4 火
10:30 - 三江小学校
日高小学校
13:40 - 田鶴野小学校
13:45 - 資母小学校

5 水
10:30 - 高橋小学校
13:45 - 静修小学校

6 木
10:30 - 竹野小学校
10:40 - 竹野南小学校

7 金
10:30 - 寺坂小学校
13:40 - 港東小学校

※基本的に学校関係者以外は参加できません。

≪ご参加くださる皆さまへお願い≫

○コンサート中に撮影した写真や映像は、おんぷの祭典や豊岡市の広報等で使用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

○駐車場に限りがあります。できるだけ乗り合わせの上、お越しいただきますようお願いいたします。

○曲目は変更される場合がございます。

○稽古堂イブニングコンサート、街角コンサートは椅子に限りがあり、立見の場合があります。ご了承ください。

9 日

グランドフェスティバル ※1部のみ無料

会場／豊岡市民会館・文化ホール
豊岡市立野町20-34

最終日は豊岡市民会館での「お祭」。
3つのコンサートを挟んで、イベントや会館棟玄関ホールでは近郊の人気店によるステキな飲食ブース・似顔絵師が特別に出店。
皆さんをお待ちしています。
1日中、五感でお楽しみください！

イベント出店

※豊岡市民会館・文化ホールは飲食禁止です。飲食は会館棟の多目的室でお願いします。

10:00 - 14:30 豊岡市民会館・会館棟玄関ホールで特別出店！

- EAT FOOD COFFEE+WINE【イート】コーヒー ビスコッティなど
- 58N musubu TRADITIONAL JAPANESE FOOD【ゴーハチエヌ】無農薬コウノトリ米のおむすび
- はしま びっくりぼこ【タジマビックリバコ】野菜、パン、焼き菓子、皮革・帆布製品、手芸品等
- TNGK【タニガキ】TNGK弁当（タニガキ人気のおかず弁当）
- TRANSFER BAKE SHOP【トランスファー】マフィン他クッキーなどの焼き菓子
- Bull【ブル】似顔絵 イラストなど

1部

キッズコンサート 未就学児OK 無料

はじめてホールで席について参加するキッズのための無料コンサートです。弦楽器も管楽器も出演します。とりわけ大きなコントラバスはお楽しみです。
開場／10:00～
開演／10:30～11:15（終了予定）
出演／碓井俊樹（ピアノ）、シュバシコウ・カルテット、こうのとり・クインテット　ほか
曲目／アンゲラー:おもちゃのシンフォニー　ほか

ヴァイオリン解体ショー ～ヴァイオリンってどうなっているの？～

「ヴァイオリンの中ってどうなっているの？」の質問に答えて、ヴァイオリンをバラバラにして音のなるしくみをさぐってみよう。

ヴァイオリンを弾いてみよう

1人ひとりが手に取って弾いてみましょう。どんな音がするかはお楽しみ。
大人も大歓迎です！

会場／豊岡市民会館・文化ホール
2階ホワイエ
時間／11:30～12:15（終了予定）
出演／中澤宗幸（ヴァイオリン製作）、碓井俊樹、川又明日香

※希望者多数の場合、人数制限をさせていただく場合があります。ご了承ください。

※ハート割引
ハート割引とは、障害者手帳が交付されている方、及び介添えの方（お一人）対象の割引です。

2部

プレミアムコンサート 有料

本格的なプログラムで魅了するコンサートです。今年はブラームスの残した名曲2曲。プレトークでブラームスのお話をしてから聴いていただきます

チケット
2部・3部 通し券
大　人 ¥2,000
高校生以下 ¥500
※ハート割引 ¥1,000

開場／12:00～
プレトーク／12:30～12:40
ブラームスはお好き?
開演／12:45～13:45
出演／中澤きみ子、ルードヴィッヒ・ミュラー、須山暢大（ヴァイオリン）、坂口昂平、鈴村大樹（ヴィオラ）、マイケル・ウイリアムズ、加藤文枝（チェロ）、碓井俊樹（ピアノ）
曲目／ブラームス:ヴァイオリンソナタ第1番「雨の歌」
ブラームス:弦楽六重奏曲第1番

3部

ファイナルコンサート

おんぷの祭典期間中に各地で演奏を繰り広げた音楽家の皆さんが、一堂に会して演奏します。弦楽オーケストラをバックに地元のジュニア・ピアニストがソリストを務めるピアノ協奏曲はなかなか聴きごたえがあります。後半は「日本オーストリアの友好150周年」を記念して、オーストリアにちなんだハイドンの交響曲やウィンナワルツでお楽しみいただきます。

開場／14:00～
開演／14:30～16:00
出演／「おんぷの祭典」室内合奏団
「おんぷの祭典」ジュニア・ピアニスト
曲目／モーツァルト:ピアノコンチェルト第12番 K.414 より
ハイドン:交響曲第101番「時計」第2楽章
シュトラウス:こうもり序曲、南国のバラ、美しき青きドナウ

一時保育あり
2部 3部 の有料コンサートは
一時保育あり 5/23締切
市役所生涯学習課までお申し込みください
tel.0796-23-0341 ※1才以上の未就学児に限ります

2部プレミアムコンサート、3部ファイナルコンサートは、未就学児の入場はできません。